

# 料金値上げと ヤマト協業



## ひろしま

郵政産業労働者  
ユニオン広島支部  
(広島郵便局内)

昨年12月、総務省は郵便料金の値上げを発表しました。葉書が85円、定形封書が110円、その他の郵便も値上げを検討していると報道されました。



また、今回の値上げが経営改善に及ぼす効果は極めて限定的で、総務省の試算では想定通りの値上げが実現しても、その年は67億円の黒字でも、次の年に

は再び4000億円の赤字に転落すると予想されています。赤字になる最大の要因は郵便法で全国一律の料金で配達するよう定められている「ユニバーサルサービスの義務化」にあります。

どんな過疎地であつても均一のサービスを提供しなければならぬということ普通は民間企業ではありえないことで、ユニバーサルサービスを今後も確保するには、民営化を見直し国営に戻すしかありません。



来月からクロネコゆうメールの全国引受がはじまり、ヤマトとの協業が本格化します。民営

化以降、日本郵政は様々な企業と提携してきました。ペリカン便との統合、オーストラリアの国際輸送物流会社トール社の買収、物流部門で業務提携した楽天など事業展開してきましたが、その都度赤字を計上し、経営は悪化する一方です。

郵便の需要が減り続けていることは事実で、協業していくことも理解できますが、そのしわ寄せはベースアップなし・ボーナス削減など、すべて現場社員が犠牲となつてきています。

民営化問題は別として、これ以上の経営悪化をしないために、ヤマトとの協業による委託料の見直しや本当に利益の出る大口料金の設定など改善すべきときです。

郵政ユニオン広島支部の組合事務室を獲得しよう! 会社は組合事務室を貸与せよ!